

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

(別紙 3)

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	理念に基づく運営			
	1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	高齢者が地域でいつまでもなごやかに安心して暮らす為に必要な社会福祉事業と運営理念を定めている		理念実現の為、努力している
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念を毎朝の申し送り時に唱和し全員が共有できるようにしている 理念に基づいた具体的な月目標も決めている		理念の唱和を続けていきたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	運営理念を玄関ホールに掲示している 理念を盛り込んだホーム便りも年4回発行している		ホーム便りにももう少し運営理念を盛り込んでいきたい
	2. 地域との支え合い			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出掛けの際に、声をかけてくださるような関係はあるが、地域の方が気軽に遊びにきていただけいるまでの関係は築けていない		今以上に地域の行事に参加していきたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事への参加・ホームの行事に地域の方を招くなどの取り組みは行っている		地域との関わりを増やすよう努力していきたい
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の御高齢者様への取り組みは行っていない		これからの課題であり、少しずつ努力していきたい
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価実施は全員が参加し意見をもらっている 評価報告は回覧を行い、その後は気軽に見る事ができるように保管している		外部評価を頂いた後はその場で忘れる事なく、向上に向け努力する
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員や自治会長が出席する為、理解頂けるよう説明している		今以上の意見を頂き、サービス向上に努めたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター担当者を中心に、近隣のグループホーム管理者（8事業所）で勉強会を実施し、お互いの相談や情報交換を行っている		今後も勉強会を継続し、お互いの情報交換の場とし、何事も相談できる様に努力していきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の権利・義務を、契約書及び重要事項説明書に明示している。 利用者様・ご家族には説明を行い、同意を得ている。 後見人制度を利用されている方もいる		後見人制度の理解を深める
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	カンファレンスにより学ぶ機会を持っている 職員同志で協力・努力により防止する事が出来ている		今一層虐待防止に関心を深めていきたい
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には十分な説明を行い、御理解・納得を頂いている		現在そのまま続け、御理解・納得を頂く
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加もあるが、日々の生活の中で意見・不満・苦情等を聞き、運営に反映している		利用者様の声が聞ける様にコミュニケーションを取り、運営に反映させたい
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	運営推進会議での報告をはじめ、体調の変化や金銭管理については随時連絡を行っている		御家族との連絡は常にとっていきたい
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議では、御家族からの意見等を聞く事ができ、面会時には気軽に声をかけて頂けるよう努めている。苦情については報告書にあげ、解決に努めている		外部者へ表せる機会を設けていきたい
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のカンファレンスにより意見交換ができています。 時々面接があり考えを伝える事ができる		今以上の活発な意見交換ができるよう、カンファレンスを充実していきたい
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事時には職員を増員する等し、十分な対応ができるようにしている。 7人体制でシフトを組み急な休みにも対応できています		現在職員が落ちつき、7人体制でのシフトが可能になった
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は最小限に抑えているが、退職者は後をたたず、課題であるが残存の職員の努力により利用者様へのダメージは感じる事はない		離職を抑える努力を続けていきたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	5. 人材の育成と支援			
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては、年齢や性別等を理由に採用からはずすことのないよう努めている。 採用の際、得意な事を聞き、担当業務を決めている。 勤務時間の希望を聞き入れ、シフトを作成している		スタッフ一人ひとりの個性を大切に、生き生きと勤務できる様に努力していく
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ホーム独自の「人権マニュアル」「接遇マニュアル」を作成。新任職員には本社での研修があるカンファレンスの中でも接遇等の研修を行っている		カンファレンス時に行う勉強会の回数を増やす
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任職員には必ず新人研修を行い、机上研修・疑似体験終了後、先輩職員がつき実施指導を行っている。 外部研修へも参加しており、カンファレンスで発表している		育成については個々のペース能力にあわせ、トレーニングを続けていく
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの交流会があり、ホーム長は毎回参加し情報を伝えている		今以上に交流を深めていきたい
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ホーム長は、職員が業務上の悩みやストレスの実態を認識しており、主任・他の職員が相談する事ができる。 センター長・部長との面談も実施している		個人とのコミュニケーションを充実させ、何事も相談出来る関係作りを行う
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月、報・連・相シートを提出し、個別の目標を立て取り組んでいる		報・連・相シートを今迄以上に活用し、各自の向上心が持続する様に働きかける
	安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
	1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者様一人ひとりの性格・これまでの経験などを充分ふまえ、合わせた声かけや対応を行っている		事前面談では理解困難な事も多い為、入居後も本人様から十分な話を聞く機会を多く持つ様に努力する
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所となるまでに見学や説明等充分行っており、入所後も電話連絡などを頻回に行っている		家族連絡を頻繁に行い、家族の思いが受けとめられる様に傾聴する
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	たくさんの会話を持てるよう努力している		これからも双方からの意見を聞き、何が必要なのか、見極めながらの支援を続ける様にする

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御利用者様の得意な事、生活歴を十分に把握した上で、活動意欲がひきだせるよう物品を準備している。 又家で使っていた馴染みの品を自由に持ち込んで頂いている		興味のある物、以前やられていた事等を把握し、毎日が意欲的に過ごせるよう援助していきたい
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御高齢者様は皆様人生の先輩である生活の中で様々な事を教えて頂いている 会話する事も多く、笑い顔が絶えない		今の関係を持続し 御利用者様と共に笑い、共に悲しみたい
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	全ての御家族が気軽に声をかけて下さるわけではないが、面会時にはたくさんの会話を持つ努力をしている		職員全員が面会の方に優しく笑顔で気持ちよく迎え入れ、気軽に声をかけて頂けるよう努めたい
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間に制限は設けておらず、面会時には笑顔で歓迎し、ゆったりとした時間を過ごして頂いている。 宿泊も可能である		家族と利用者の関係が途絶える事のない様に今後も支援を続ける
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達と一緒に旅行に行かれる等、入所前の馴染みの方の面会も歓迎している		今一層の声かけを続ける
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	トラブルになりそうな時は職員がさりげなく間に入り対応し、利用者様に不安や支障が生じないようにしている		常に見守りを行う事により、皆様にとって居心地の良い空間を造っていきたい
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院等でグループホームでの生活が困難になり退所された方の御家族が立ち寄って下さるケースもあった		立ち寄って頂ける信頼関係を築いていきたい
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
	1. 一人ひとりの把握			
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している	日常のささいな会話の中でも、御利用者様の考えを聞き入れ、スタッフ間で話し合う等の対処をしている。 御家族への協力も依頼している		御自分ではっきりとした意見や思いを伝えて下さる方については、都度対処できているが、困難な方についても安心できるよう努力したい
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の十分なアセスメントにより把握ができています。 いつでも情報収集できるよう、わかりやすくファイルされている。		情報収集を続行していきたい
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	健康日誌や生活日誌等により、一人ひとりの状態の把握が確実に出来るようにしている		業務中心ではなく、御利用者様の生活にあわせた支援をしていきたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御利用者様や御家族の要望を聞きとり、心身状況や生活歴に基づき、担当者・作成者・他スタッフとの話し合いの元、御利用者様主体の介護計画を作成している		担当者が一人で考えるのではなく、スタッフ全員の協力により御本人主体の介護計画を作成していきたい
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度の見直しを行っている。 身心の急激な変化や、一時入院等の時はその都度アセスメントを実施している		あまり難しい立派なケアプランよりも御家族にも身近に感じて頂ける、分かりやすいプランを作成したい
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康管理シート・生活日誌・ホーム日誌等で生活の様子や、身心の状態、ホームでの出来事が把握でき、情報の共有は充分である		数多くの記録物を記入し、誰もが容易に情報収集できるのだが、把握の徹底がされていない 努力していきたい
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム独自の支援は行っていないが、併設一階にあるデイサービス利用等の支援は出来ている		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察署や消防署・図書館等に協力を呼びかけている。 周辺地域の諸施設へ行けば協力して下さっている		地域での行事のお誘いには進んで参加していきたい
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現状では他のサービスの利用は行っていない		地域でのサービスが提供できるよう支援していきたい
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域連絡会議には、地域包括支援センターの方が参加して下さい、他施設の情報や意見を頂けている		地域包括支援センターとの関わりを増やしていきたい
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	二週間に一度、かかりつけ医の往診があり、体調管理をしっかり行っている。 又急な体調不良にもかかわらず24h対応してくれている		今以上にかかりつけ医との関係を築きながら、適切な医療提供ができるよう努力したい
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医がもの忘れ外来も実施している為、認知症に対しても安心できる診断・治療を受けられる勉強会への参加もある		専門医の勉強会等、増やしていきたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	一階併設のデイサービスの看護職員により、体調変化や毎日の排便の様子など気軽に相談している		デイサービスの看護職員との連携を今以上にとっていきたい
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後は頻回な連絡、お見舞いを行い、御本人の状況の確認をするとともに、早期退院の為に医師との話し合いもやっている。受け入れについてもスタッフ全員の意見を聞いている		スタッフ全員が暇をみつけてはお見舞いに行く等、入院後のケアも続けていきたい
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の御利用者様への対応は御家族・かかりつけ医職員間での話し合いにより決定し、看取りもありうる		看取りについて御家族・職員・会社の意向等しっかりした対応をしていきたい
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期の方へホームとしてどこまでケアできるのか、かかりつけ医と相談の上、ケア内容や急変時の対応など話し合い検討を行っている		常に話し合いを行い、スタッフ全員で取り組んでいきたい
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御家族・ケア関係者間での話し合いを充分行い、住み替えによるダメージを防げるよう努力している		住み替え時には十分な情報交換を行っていききたい
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	カンファレンスの中でも御利用者様への声かけの仕方などについて話し合い、一人ひとりに合った声かけや対応を行っている		一人ひとりの尊厳を守り、プライバシー確保に努めたい
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入所時のアセスメントや日々の会話の中で御本人の思いを理解し、納得した暮らしを支援している		御利用者様全員の把握に努めたい
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務本位にならず、御利用者様のペースに合わせた生活ができるよう支援している		現状のまま一人ひとりのペースの確保に努めたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	自立の方は御本人が服を選ばれるが、介助の必要な方は職員が選ぶ事が多い。 理容・美容については望む店等の希望は少なく訪問による美容を行っている		介助の必要な方の洋服選びも御本人と共に行っていききたい
56	食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備の際、出来る所は御利用者様に手伝って頂いている		御利用者様が楽しく食事ができるように手作りおやつ等も工夫していききたい
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒・たばこを好む方はいない。 体重増加傾向の方が多く、居室内でのおやつ摂取は控えている		一人ひとりの状況に合わせて支援していききたい
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンをスタッフ全員ができており、残存機能を活かした支援を行っている		その時々合った対応により不安のない排泄支援を行っていききたい
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ほぼ隔日での入浴により楽しまれている。 中には一人で1h入浴される方もいるが、ペースに合わせて対応している		一人ひとりの希望タイミングを大切に、楽しい入浴タイムを心掛けたい
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの体調を把握、夜間良眠する事が出来るよう支援している		一人ひとりの生活ペースを把握し、安眠・休息の支援を心掛けたい
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	計算ドリル・ぬり絵・工作・食器洗いや調理の手伝い等、一人ひとりに合わせた楽しみや気晴らしを支援している		今以上に職員・御利用者様が楽しみながら生活できるよう努力していききたい
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全て預かり保管している。 認知症の為、御本人での管理が不可能である		御本人管理は不可能ではあるが、一緒に買い物に行く等の機会を増やしていききたい
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	レベル低下もあり、散歩に出掛ける機会も随分減ってきた。 希望される方もいなくなった		外出できる行事を取り入れ、近所への散歩等で気分転換を測っていききたい
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域での行事への参加は常に情報を集め実施している		もう少し御家族の参加ができるよう努力していく

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	難聴の方も多く、電話で話す事はほとんどない。 手紙や文章を書く事はほとんど出来ず支援できていない		以前年賀状や暑中見舞いを絵葉書によって送っていた事もあり、これから復活させていきたい
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	御家族の面会の際は笑顔で快く迎え気軽に話しかける事のできるよう雰囲気作りをしている		笑顔を心掛け、御家族に安心して頂けるよう努力していきたい
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の実施をせずにやってきたが 12/20 転倒骨折OP終了後の方が帰所され、再度転倒の恐れがある為鈴による身体拘束を実施している		全ての職員が正しく理解してはいない為、今後もカンファレンス等で説明を行い、身体拘束ゼロを目指す
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室に鍵はかけないが、玄関の鍵はかけている		車の通りが多く危険な為、玄関の鍵は必要となっているが、かけない努力をしていきたい
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	みやびフロアーの御利用者様はフロアーで過ごされる事を望まれ見守りも容易である夜間は1h毎の巡視により安全確認を行っている		日中昼寝をされる方の把握も充分やっていきたい
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険なリスクは全て除去している		台所の包丁は流しの下に収納せず箱に入れ、冷蔵庫の上等の手の届かない目につかない所に保管している
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に御利用者様の行動を把握し、転倒・窒息・誤薬・行方不明・火災等起こらない様、事故防止に取り組んでいる		ほんの少しの気のゆるみから起こる事故、常に気をひきしめ事故防止に取り組んでいきたい
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルにそった社員研修も行われており、事故防止に取り組んでいる		繰り返し学習する事で確実なものにしていきたい
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消化訓練は定期的に行っているが、地域の人々の協力が得られるか不安がある		夜間の避難については不安である 避難方法を身につけ迅速な対応が出来るようにしていきたい。 地域の方との交流をとっていきたい
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こり得るリスクについては随時御家族と話し合いを持っている		御家族との話し合いの上、リスク管理を行っていく

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタル測定を行い、異常と感じた際は様子観察を強化し、かかりつけ医の指示を得ている		顔の表情・バイタル等「いつもと違う」を発見できる様、常に御利用者様に目を向けたい
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ一人ひとりが薬のチェック表を作成し、薬についての理解に努めている。 薬変更後の状態変化は健康日誌に記入している		薬への理解を深めるよう努力する。 服薬介助時は慎重に確実にを行う。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	献立作成時には繊維の摂取も考慮の上で作成している。 身体を動かす働きかけの工夫が必要である		水分量等の不足にも気を配り、身体を動かす働きかけをしていきたい
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせた援助が出来ている		訪問歯科との連携をとり、口腔内のトラブルを除去していきたい
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分の摂取が少ないと感じたときは水分量のチェックを行い、把握している 食事の摂取量は毎食記入している		全体に体重の増加傾向である方が多い為、週一の体重測定により管理を続けたい
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザについては御利用者様・職員ともに予防接種を受けている。 感染症マニュアル通りに実行している		うがい・手洗いの徹底 面会の方へも同様の呼びかけをしていきたい
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	月に一回の衛生管理チェックが入り、常に清潔に管理出来ている		今以上の衛生管理を徹底していきたい
	1. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植物を植える等し、親しみやすい工夫をしている		花を植える等し、家庭的な雰囲気作りをしていきたい
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下・玄関などの共用空間には季節の飾り物があり、四季を味わって頂いている		BGM等に配慮し、居心地良い空間を作りたい

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファ・ベランダに置かれた椅子など、思い思いの場所に座り、一人ひとりが居心地の良い場所を決めている		今の良い状態を持続し、居心地の良い空間をつくっていきたい
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの少ない御利用者様が多く、呼びかけは継続している。 テレビを持ち込まれる方はいるが、ほとんどフロアで過ごされる為あまり使用されていない		持ち込みへの呼びかけを続けていきたい
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節はこまめに行い、暖めすぎ・冷やしすぎのない様配慮している		冬は加湿器使用により常に十分な湿度が保てるよう注意していきたい
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御利用者様一人ひとりの身体機能を活かし、残存機能が充分使えるよう援助している		一人ひとりの状態の変化をしっかりと把握し、安全かつ自立した生活が送れるよう援助する
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	調理補助や食器拭き・掃除等の生活リハを一人ひとりの状態に合わせて手伝って頂いている		家事への参加等、出来る事を見つけて援助していきたい
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	暖かい日はベランダでの体操を楽しんだり、プランターに花を植えたりしている		外出の機会がつかれない事が多い為、ベランダに出て四季の風を感じて頂けるよう援助したい

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

御利用者様一人ひとりに合わせたケアを行うため、御利用者様の個別記録は生活日誌・ケアプランの実施状況・健康日誌等があり、特徴や変化を随時記録している。(感染症・緊急対応・人権・接遇)についてマニュアル化しており、新人研修の中にも盛り込まれている。クリスマス会・敬老会はイベント行事として御家族も招待し、楽しんで頂いている。